

ひとりひとりのやさしさが あなたの住む町 宗像を、もっとやさしくしてくれます

赤い羽根共同募金運動がはじまります!

10/1
▼
12/31

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



宗像大社秋季大祭での街頭募金



たすけあいの心
日本で共同募金運動が始まって60年以上が過ぎました。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあいの心」に支えられ、人々の幸せを願ってともに歩んできました。



自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

平成25年度、みなさんのご協力で1262万6815円の募金が集まりました。ありがとうございます。

平成25年度の募金実績額は、1262万6815円

社協だより

154号
平成26年10月1日
発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

今年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1262万6815円です。この目標額を達成することで「平成26年度共同募金の使いみち(表1)」のような事業・活動が

平成26年度の募金目標額

「目標額」になります。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

共同募金は計画募金

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

平成26年度募金の使いみち

スマートフォンから社協ホームページへかんたんアクセス!

携帯電話(スマートフォン)でQRコードを読み取ると、市社会福祉協議会のさまざまな情報が閲覧できます。

「共同募金実績額の推移(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていきます。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

平成26年度共同募金の使いみち(表1)

平成25年度の実績額は、1,262万6,815円でした。ありがとうございました。この募金は平成26年度、下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

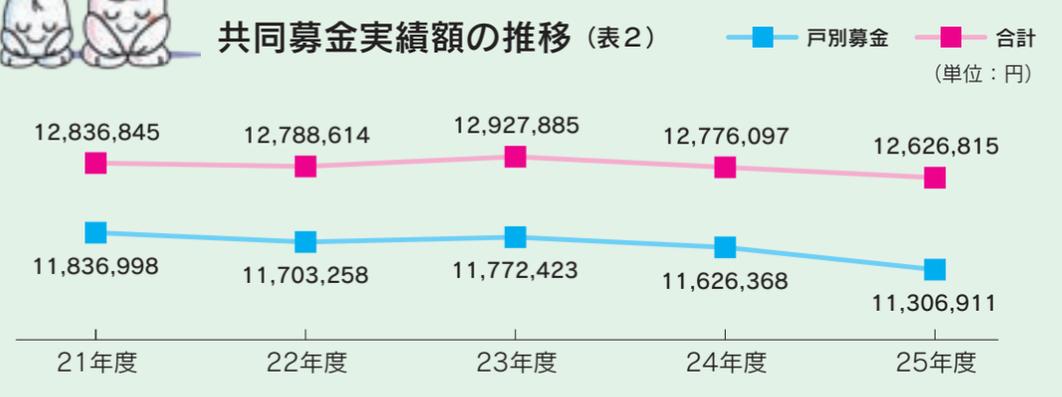
項目	金額
高齢者の福祉に ★在宅介護者の会への支援 ★小地域ネットワーク活動助成金 ★配食サービスボランティア ★老人クラブ連合会助成金	1,176,000円
障がい児・者の福祉に ★身体障害者福祉協会支援 ★あじさいの会助成金 ★手話講習会助成金 ★あゆみの会助成金 ★声の広報配布事業 ★要約筆記ボランティア ★おもちゃ図書館運営支援 ★ライフサポート事業	2,179,000円
ボランティア活動に ★福祉ボランティア活動連絡協議会活動への支援 ★大島地区ボランティア団体助成金	524,000円
福祉会活動の支援に ★地域住民の自主的な地域福祉活動	2,864,000円
児童・青少年の福祉に ★福祉教育読本「ともに生きる」の活用 ★福祉教育推進校(園)指定事業	1,185,000円
子育て支援活動に ★地域福祉文庫連絡協議会の支援 ★子育てネットワークこねつの助成金 ★母子・寡婦福祉会への支援	570,000円
県内の福祉施設や災害準備金に ★県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体に ★災害準備金に	2,423,055円
情報提供・啓発活動に ★社協だよりの発行 ★ホームページ管理費	939,200円
共同募金の事務費に ★チラシの作成、資材の購入など	766,560円

一世帯700円の目安額

平成27年度も安定、継続して行うことができます。



共同募金実績額の推移(表2)



「共同募金実績額の推移(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていきます。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

つながれ ひろがれ 地域福祉! シリーズ②

赤い羽根
共同募金
配分団体紹介

障がいがあっても
安心して宗像市で
暮らせるように



宗像市あゆみの会
会長 小川 久美子さん

「宗像市あゆみの会」は市内に住む心身障がい児・者の親の会です。「宗像あゆみの会」が設立されたのが44年前、現在の会の名前になって活動を始めてから32年が経ちました。

私たちは、「どんなに重い障がいがあっても地域の中ですこやかに育ってほしい!」と願い、教育や医療、福祉行政の問題に取り組んでいます。

毎年、福祉サービス事業所の見学や研修を行ったり、外出の機会の少ない子どもたちを楽しませようと一年交代で一泊体験旅行、バスハイク、毎年クリスマス会などを行っています。

毎月1回のサロン活動では、販売用の布巾を製作したり、時には楽しいおしゃべりに花を咲かせたり、真剣に福祉の問題を話し合います。

私たちの活動は皆さまの善意の赤い羽根共同募金の配分金に支えられています。心より感謝を申し上げます。これからも頑張った活動を続けていきます。ご支援、ご協力をよろしく願います。

サニックススポーツ 振興財団が 車イス移送車を寄贈

7月11日、グローバルアリーナ(宗像市吉留)で、サニックススポーツ振興財団の宗政伸一理事長から、車イス移送車(ホンダNボックスプラス)が市社会福祉協議会へ寄贈されました。寄贈を受けた市社会福祉協議会の福本義雄会長は、障がい者や高齢者などを対象とした地域福祉権利擁護事業(「ライフサポーター事業」)や障害者生活支援センターの公用車として有効活用したいと宗政理事長に活用方針と感謝の意を伝えました。今回寄贈された自動車は、車イスのまま乗れる軽自動車で、車イスを車載しない場合は、後部座席を普通乗用車として使用することもできます。本会は、これを機にさらなるサービスの向上に努めます。



車イス移送車を寄贈したサニックススポーツ振興財団(左) 宗政理事長(右)と市社会福祉協議会福本会長(左)

市民策定委員を 募集します 第4次 地域福祉活動計画に 市民の提言を!

本会では「第4次地域福祉活動計画」を策定します。計画は、子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域の創造、幅広い世代が参加できる地域福祉の推進「福祉の里づくり」を目標にしています。

市民の立場から、また、地域や家族の立場からの意見を計画にいかすため、一般公募による委員を次のとおり募集します。

▽開催頻度・平成26年10月から平成27年3月までの間で月1回2時間程度

▽役割・計画策定委員として策定委員会に出席し、各会議のテーマに応じて意見もしくは作業をしていただきます。

▽人数・1人(書類選考による)

▽対象・市内に住所を有する人で地域福祉活動に関心のある人

▽締切り・10月10日(金)

▽申込方法・①郵便番号②住所③名前④年齢⑤性別⑥電話番号を明記したものと⑦「地域福祉」をテーマにあなたの考えを800字程度で書いた作文を市社会福祉協議会「第4次地域福祉活動計画策定委員募集担当」へ郵送してください。



ひとり親家庭 バスハイク 参加者募集!



市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象にバスハイクを開催します。今年はスペースワールドに行きます。あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 日程/10月19日(日)
- 対象/市内在住のひとり親家庭の親子
- 行先/スペースワールド
*雨天の場合、いのちのたび博物館(予定)
- 参加費/▽会員 1人 500円
▽非会員 1人 800円
- 募集人員/30人
*応募者多数の場合、抽選
- 申込方法/10月10日(金)までに
市社会福祉協議会 ☎(37) 1300



ほんのひと時、介護の手を休めてリフレッシュしませんか。 在宅介護者1泊リフレッシュセミナー

参加者募集!

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。このセミナーは、在宅介護をしている人の「こころ」と「からだ」のリフレッシュを目的として1泊で実施します。今回は、長崎県に行く予定です。あなたも介護の手を休めて、同じ介護者との楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 主催/市、市社会福祉協議会
- 日時/10月21日(火)・22日(水) 9:00~翌日16:30(予定)
- 対象/市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先/長崎県の温泉地(予定)
- 宿泊地/富貴屋(長崎県雲仙市)(予定)
- 参加費/1人 5,000円
- 募集人員/30人 *応募多数の場合、抽選
- 申込方法/10月7日(火)までに
市社会福祉協議会 ☎(37) 1300



障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分~午後5時
☎(34)2411 国(34)2422
メールアドレス aaw09180@nkg.odn.ne.jp

ピアサポート事業参加者募集!

同センターでは、10月19日に、ピアサポーター(障がいのある相談員)や障がいのある人が一緒に活動をするピアサポーター事業を開催します。今回は、スポーツ推進委員会の協力のもと、勤労者体育センターで風船バレーを予定。競技終了後は、希望者で昼食をとりながらの懇親会も計画しています。初めての参加も大歓迎!地域で仲間作りをしたい人の参加をお待ちしています。



- 日程 10月19日(日) 午前9時~正午
- 終了後懇親会
- 場所 勤労者体育センター
- 対象 障がいのある人
- 募集人員 20人程度
- 参加費 無料
- 懇親会出席の場合、食費は自己負担
- 申込期間 10月1日(水)~10月10日(金)
- 申込・問い合わせ先 同センター
☎(34) 2411 (FAX) (34) 2422

6月のピアサポート事業は公共交通機関を利用して福岡市へ。参加者11人、身体・知的障害者相談員やボランティアなど、総勢23人で博多めんたい千曲屋(ちくまや)に行き、めんたい作りを体験しました。慣れない作業に、いつもはにぎやかな参加者も、今回はおしゃべりを忘れて真剣に取り組んでいました。作業終了後は「早く食べたいな」「初めて作ったけど楽しかった」など、みなさんいつもの元気な笑顔でした。



分量を間違えないように慎重に作業し、おいしいめんたいができました!

ボランティアセンター通信

日曜日 第1種日祝日を除く午前9時30分～午後5時 電話 3741000 3741010
ホームページアドレス http://kouyukan.com/v-net/ メールアドレス v-net@syakyo.munakata.com

宗像市 福祉ボランティア活動連絡協議会

30周年記念式典開催

宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会は、結成から30年を迎えました。感謝の気持ちを込めて、所属グループの活動発表やロンドンパラリンピック金メダリスト浦田理恵さんの講演会を実施します。どなたでも参加できます。

■問い合わせ先 同センター

【講師紹介】

浦田理恵さん（ゴールボール全日本女子主将）
網膜色素変性症を発症し、左目の視力はなく、右目も視野が95%欠損しており、強いコントラストのものしか判別できない。



開催内容

ステージイベント、体験・交流広場・講演会をしよう♪

- 10:30 開会式典
- 11:00 ステージイベント (演劇) 手話サークル「シュワッチ」 / 人形劇 こやぎ屋 / ひよっとこ楽屋 アンディーモ
- 12:00 知って！みて！ふれて！～ボランティア体験・交流ひろば～
- 13:30 浦田 理恵さん 講演会 (ロンドンパラリンピック ゴールボール金メダリスト) 「自分らしくキラキラ生きる。」～ふみ出す一歩、広がる世界～
- 15:10 閉会式

同時開催 10:00～13:30 宗像市内5つの障がいサービス事業所による「まごころ市」も開催



知って、みて、ふれて！

日時 平成26年12月4日 木 10:30～15:10 (開場 10:00)

会場 メイトム宗像 多目的ホールほか 宗像市久原180 (宗像ユリックスそば)

入場無料



技術の高さに驚きと感動！

「高年齢」の人や「障がい」のある人もいっしょに生きている仲間、「同じ人間」です。「障がいは大変だと決めつける」「かわいそう」などと「特別」

「年齢や障がいの有無にかかわらず、安心して暮らせるまち」を考える
世の中には「高年齢」や「障がい」があるために日常生活上不都合なことが起こる人もいます。高齢者疑似体験では、心身で起こり得る不都合を実感しました。横になる、字を書くなど、日ごろ何気なくできることが、しづらくなることに驚いたり、戸惑ったり…。気持ちの変化にも気づきました。さらに「認知症」「見えづらい障がい」とは何かを学び、そのような症状がある人も暮らしやす

「ユニバーサルなまち」へ

初日の学習をふまえ、障害福祉サービス事業所「JOY倶楽部アト部門・アトリエプラヴォ」のみなさんと交流学習を実施。何らかの不都合があっても、得意なことを仕事にいかしている姿を目の当たりにしました。障がいの有無にかかわらず、時々に応じた道具や環境、人の支え次第で、希望に近づくよう努力し、「自分らしく生きる」ことはかなえられると分かりました。



「こども福祉員ピッコラ」になりました

※「JOY倶楽部」は、知的障がい者の文化的活動による社会参加を掲げ、利用者の生涯を支援することを念頭に活動している事業所です。

わたしたちが伝えます！
こども福祉員「ピッコラ」誕生！
「ジュニアボランティアスクール」より
このスクールの目標は、自分を含めたみんなの「ふだんの暮らしのしあわせ」をかなえるため、進んで「自分にできること」行えるようになることです。小学3年から小学6年の14人が、障がいのある人との交流や体験学習に取り組みました。(8月20日～22日実施)

と見る気持ちが「こころのバリア」。このバリアが最大の問題です。このスクールをへて「こども福祉員「ピッコラ」」になった参加者は
①小さなことでも 実行する。
②その人の立場で 考える。
③「自分」も「人」も 大事にする。

平成26年度 ボランティア入門講座 参加者大募集！

～ちいさな事からはじめてみよう第一歩～

ボランティアに関する基礎的な学習と読み終えた色新聞紙を利用して「ペーパーフラワー」作りを体験します。ボランティア活動で大切な「出会い」「創造する喜び」など、楽しみながら学んでみませんか。ボランティア活動に興味のある人、自分にも何かできる事をはじめてみたい人はぜひ参加してください。

- 日 時/11月6日(木) 9:15～12:15
- 場 所/メイトム宗像・202会議室
- 持参品/読後色新聞紙、はさみ、筆記用具など
- 定 員/20人
- 参加費/300円(材料費、保険代など)
- 内 容/「ボランティア活動について」「ペーパーフラワーコサージュ作り」など

■申込・問い合わせ先/10月23日(木)までに同センターへ



読後色新聞紙で製作した「ペーパーフラワーコサージュ」

寄付

ありがとうございます

- 【香典返し】(敬称略)
- ・(故)小南富士子(日の里)
- ・(故)後藤悟 (三倉)
- ・(故)松永敏明(自由ヶ丘)
- ・(故)高橋節子 (池浦)
- ・(故)高山時春 (吉留)
- ・(故)永添清一(自由ヶ丘)
- ・(故)富田満 (朝町)
- ・(故)高木タツ(自由ヶ丘)
- ・(故)高岡久枝 (鞍手町)
- ・(故)渡邊虎行 (田熊)
- ・(故)有村晋一 (稲元)
- ・(故)竹原藤枝 (須恵)
- ・(故)吉武アキノ (久原)
- ・(故)西山時栄 (青葉台)
- ・(故)濃野愛子 (泉ヶ丘)
- ・(故)吉武富士枝 (上八)
- ・(故)遠藤文孝 (日の里)
- ・(故)早川猛虎 (東郷)
- ・(故)松本セツ子 (土穴)
- ・(故)松田恵美子 (葉山)
- ・(故)坂本サガ(城西ヶ丘)
- ・(故)長谷時也(ひかりヶ丘)
- ・(故)吉武康之 (用山)
- ・(故)福崎正博 (大島)
- ・(故)村田博 (鐘崎)
- ・(故)中村京子(日の里)
- ・(故)桑野田鶴子(野坂)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願い致します。

社協だよりは、偶数月の1日号です (年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 メイトム宗像内
大島支所 宗像市大島180番地32 ふれ愛センター内
ホームページアドレス http://syakyo.munakata.com/ 電話 (37) 13000
メールアドレス info@syakyo.munakata.com 22994